

令和2年度第3回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和2年9月4日（金曜日）午前10時から午前11時30分まで
（新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、WEB上での意見交換による開催）

出席者 佐藤委員長、杉田副委員長、中島副委員長、花形副委員長、吉澤副委員長、蛭川委員、藤田委員、堤委員、池田委員、藤井委員、北川委員

傍 聴 4名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他5名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">資料確認 次第 資料1 令和2年度東京都相談支援従事者等研修演習指導者養成研修プログラム案 資料2 令和2年度東京都相談支援従事者主任研修プログラム案 参考資料1 東京都相談支援従事者等研修演習指導者養成研修実施要領 令和2年度東京都相談支援従事者等研修演習指導者養成研修 区市町村向けちらし 参考資料2 相談支援従事者主任研修標準カリキュラム本日は、傍聴者がいること、また、記録のための録音及び今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページでの公開対象であることについてご了承いただきたい。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 検討事項

（1）演習指導者養成研修のプログラムについて

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none">演習指導者養成研修のプログラムについて、特に議論を重ねた点、昨年度からの変更点、課題として残っていること等を含めて、花形副委員長からご報告をいただきたい。
花形副委員長	<p>（資料1について説明）</p> <ul style="list-style-type: none">令和2年度東京都相談支援従事者等研修演習指導者養成研修は、全3日程で行う。1日目は、演習指導者（以下「FT」という。）を初めて行う受講者を対象として実施する。 講義内容は、東京都における相談支援従事者等研修の概要やこれまでの経過障害福祉の歴史から相談支援の目的や必要性を確認するために、「相談支援、（障害児者支援）の目的」の動画を投影し、相談支援について理解を深める。 初任者研修演習のFTがポイントとすることについて、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から工夫が必要である。マスクを着用し個人ワーク中心の演習となるため、グループワークの場作りのコツを重視する内容から雰囲気や表情づくり及び自分の持っている知識を伝える内容が中心になる。2日目は、同内容で3日程に分かれて行い、いずれか1日程に参加していただく。内容は、昨年度からの変更点と演習全体の流れを理解するために、演習ノートに沿って各ワークの手順とFTのポイントを解説する。 教室進行（以下「MF」という。）とFTのポイントの違いを確認できるよう、役割ごとに会場を分かれて説明する時間を設けた。

	<p>F Tは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のポイントや立ち回りを再確認する。基本グラフィックの書き方では、「佐藤和也さんの情報を広げよう」の場面のホワイトボードの書き方のコツを学ぶ。</p> <p>MFは、ニーズの整理と5 P i c sを自分の言葉でわかりやすく説明できるよう、しっかり理解してもらう時間をとる。また、今年度は、サポーターは動画による参加のため、どのようなことを話しているのか、動画を視聴する時間をとり内容を確認していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは、グループワークを円滑にするための方法を学ぶ内容であったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からグループワークは無くなったので、自分の持っている知識を伝える方法を中心に講義する。 ・グループワークはないが、現場へ持ち帰れる内容にしたい。例えば、担当者会議で役立つようなホワイトボードを使うコツや現場での様々な会議の進め方を伝えようと考えている。 ・3日目は、初任者研修での演習指導を振り返っていただき、演習企画、F Tとしての事前準備、F Tの基礎等を学ぶ。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・2日目の研修の中で演習についてのポイントの確認をMFとF Tで分けて行うことになった経過を説明いただきたい。
花形副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは、演習2日分を半日で確認した。演習のねらいについて学び、必要などころは、実際に模擬演習を行いポイントを確認する内容だった。 ・今年度から、演習5日分を1日で確認する。新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じて実施する研修はMFもF Tも今回が初めてのため、それぞれの視点から演習内容で分からない箇所を確認する時間を設けることにした。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・補足として、MFは、新しいF Tの指導をする役割をしなければならないのでそのことも含めて共有する時間としたい。
佐藤委員長	MFは、全体を見とおす力が必要。また、この形は今後も継続していくのか。
花形副委員長	初めて一部をMFとF Tを分けて確認するので結果をみてと思っているが、この形が望ましいと思う。演習指導者養成研修検討チームが検討会委員では一人だけなので、初任者研修検討チームの方にもご協力いただきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・全研修チームの担当者及び検討会委員の方も含めて、皆様のマンパワーをお借りしながら進めていただきたい。
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、初任者研修の演習時に、演習指導者養成研修講師が「演習総括」として、各教室を回って助言等してもらえたが、今年度はどのようになるのか。
花形副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の初任者研修は9日程あるので全てを回るのは大変と思っているが、事務局は今年度は統括についてどのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・想定はしていない。統括は、1つの日程の中で教室と教室とをつなぐ役割をしている。今年度はグループワークがあまりないのでF Tがグループに張り付く時間も少ない。F T同士でやりとりする時間がとりやすいと思うので、今年度はF T同士で調整していく方向でお願いしたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた研修となるため、先が見えないところもある。課題が判明したときは課題提起していただきたい。 ・演習指導者養成研修プログラムについては、これで確定する。

(2) 主任研修のプログラムについて

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 主任研修プログラムについて、吉澤副委員長からご報告をいただきたい。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援専門員が果たすべき役割及び役割を担う上で必要な視点については、オリエンテーションで説明したい。なお、労務関係については、専門の方に説明していただきたいと考えている。 昨年度からの変更点は、昨年度の「地域共生社会の実現」は、最終日に盛り込んでいたが、今年度は初日に講義を行う。主任相談支援専門員としての目標は、地域共生社会の実現を目指すことである。地域共生社会の実現を目指す取り組みをするには何をすべきかを説明した上で演習をする。 「地域共生社会の実現」の講義は、国及び東京都の研修においても取り組み例を発表してきた。地域共生社会の在り方の具体的イメージづくりができるよう、地域共生社会を考えるグループワークを行う。 「相談支援事業における運営管理」は、演習の要素も取り入れる。 主任相談支援専門員として、実践しなければならない災害時の対応については、新型コロナウイルス感染症への対応について考えている。 「まとめ」は、聞いているだけではまとめとにならない。受講者が研修内容のおさらいができるよう、時間をかけて演習を行う。 これから主任研修の検討チームは、全体の基本構成を固めていながら新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた研修を考えていきたい。講師については、主任研修検討チームを中心に、昨年度のチームの方にもご協力いただきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 主任研修プログラムについて、補足及び質疑をいただきたい。
花形副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援の経験者が、研修のグループワークで意見交換していくことはとても大切なことである。昨年度の内容と比べてグループワークでの意見交換が増えているが、新型コロナウイルス感染症への対策をどのように考えているか。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 初任者研修で行われる新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた研修を参考にしたい。主任研修検討チームとして共有していないが、研修時間を短縮する場合は、事前課題を振り替えるのか、インターバルを作るのか等、検討していきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 「相談支援事業における運営管理」の災害対応については、主任研修の力点となる。災害時対応のプログラムを具体的に説明いただきたい。 災害対策は、相談支援従事者の大きな課題となっていると思うので、多岐にわたり内容を転換しなければならない。時間的制約があるのでどのように焦点化していくのか、説明いただきたい。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> これから具体的に検討する。標準カリキュラムの中に「災害時の対応」がある。昨年度の研修では大田区のことを話してもらい、「災害対策として事前に何をすべきか。」の内容が役に立った。江戸川区では、相談支援専門員研修で災害をテーマに行った。また、介護保険領域との合同研修で相談支援専門員が災害時に備えるべき内容を学んだ。相談支援専門員にどのように発信していくか考えながら進めていきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各施設でも防災マニュアルは作成されている。これから新型コロナウイルス感染症の感染防止策のための防災的要素の内容が多くなるのではないかと。災害が発生した場合、地域差が著しいので対応策が異なる。その辺りをどのように焦点を絞っていくのか、ヒントになる研修となるよう検討いただきたい。

吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・補足ですが、昨年度、被災地支援を行った方や実際に災害に遭った地域の方に話をさせていただくのはどうかという議論があった。結果的には防災をテーマとする研修となったが振り返りをしながら進めていきたい。
中島副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の主任研修は、国のカリキュラムに沿って行ったが違和感があった。今年度は、「地域共生社会の実現」を最初に持ってきているのでよい。後半の「人材育成の地域での展開」及び「スーパービジョンの理論と実際」並びに「多職種協働の考え方と展開方法」は若干入れ替えている。直近の国の主任研修の建付けに従っての入れ替えなのか状況を教えていただきたい。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の使用時間等も考慮に入れての入れ替えでもある。 ・5日目「地域援助技術の考え方と展開方法」は、30分から90分に延長する。今後も多少の時間変更は出てくると思うが大まかな建付けは以上である。
藤井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ある県では、自然災害が多い地域だがサービス等利用計画及びアセスメントシートに災害時にサービスにつなぐ内容を記載している事例がある。自治体は、基幹相談支援センターを中心に災害時にどうすべきか考えていく必要がある。 ・その他の県でも相談支援専門員協会関係者が現地の相談支援専門員と現地を確認している。土砂災害や新型コロナウイルス感染症の感染防止策等のアセスメントの事例を研修の中で具体的に紹介してくれるとやる気につながる。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都内の事業所及び近隣地域でどのような防災対策をしているのかわからないということもあるので、そういった情報交換も含めて、日頃から役立つ実践例は、相談支援専門員には役立つことと思う。盛り込んでいただければと思う。 ・今年度の主任研修は実施するので、固められることは固めていきたいのでご意見をいただきたい。
蛭川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の浸水マップを見ると区部地域は水没地域である。水害の危険から守るために市部地域へ避難できるとよいと感じた。そのためには、市部にお住まいの方の協力がないと難しい。また、講義の中で災害専門家から話を聞くことも必要である。 ・プログラムの詳細はいつ頃決定するのか。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今月中に研修内容を決めたい。 ・今の意見を聞いて、自分の地域に寄せて、自分ごととして考える時間を作った方がよいと思った。であればなおさらだが、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたグループワークはどのように行ったらよいか。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたグループワークは距離感があるので話し合いをするのは難しい。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・本当は意見交換をたくさん行いたいところだが、状況を見ながら進めていきたい。
藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市にも基幹相談支援センターがないので、相談支援専門員は、どの地域にどのような方が住んでいるのか考えていると思う。昨年、川が氾濫するということで自分が避難するという経験をした。日曜日であったので事業所を利用している方との関係が薄くなった。相談支援専門員としてどう動けるか。議論の中で協議したい。
池田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・5日目「地域援助技術の考え方と展開方法」を担当する。この講義は、昨年は、演習でグループワークが中心であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じる研修となるため、どのように組み立てるか検討する。 ・自然災害が発生した場合も地域援助に含めて考えるのもよい。昨年の台風であき

	<p>る野市は家が流されてしまい大きな被害となった。山間部は土砂災害も起きるので事前に避難を呼びかけたり防災対策を行った。そのあたりを演習に盛り込みながら考えていきたい。</p>
池田委員	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染防止策についても区部と市部とで異なると感じる。現在、都内の新型コロナウイルス感染症の感染者は落ち着いてきているが、あきる野市は増加している。インフルエンザと同様の傾向である。医療機関は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を立てている。区部と市部との連携を考える内容も盛り込めるとよい。
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> 初任者研修は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策による研修の実施となり演習はグループワークではなく、ほとんどが個人ワークで対応する。 グループワークを行う場合は、質問したいことを質問票に記入し、F Tは内容を確認し読み上げてから、回答者が質問に答える方式を進める。主任研修も同様の方式を進めていくと思うが、大勢の人の意見を聞きアウトプットできるよう、工夫していただきたい。 災害時の他県の事例は、相談支援専門員の視点が素晴らしく目から鱗である。自分が作成するサービス等利用計画の中に、利用者が災害が起きた時に、したいことが記入されていると具体的な取り組みができる。また、相談支援専門員と主任相談支援専門員の役割分担や立ち位置を深められる。
杉田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 皆様からご意見をいただくといろんなアイデアが出てくる。 2日目「相談支援事業における運営管理」では、自分の地域に寄せて自分のこととして考えるワークに取り込むことや、区部と市部の広域で助け合う仕組みを作り上げるために相談支援専門員がどのようにかわるのか等、今までになかった視点があり、どのように研修に反映させていくか考えていかなければならない。 集合研修は、グループワークは難しいが集合研修のよさやオンライン併用で行うよさを考える必要がある。Zoomのブレイクアウトセッションは5人位で意見交換し、記録した内容を全員で確認することもできる。いろんな方向を考えていく必要がある。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ブレイクアウトセッションは細かな会話ができるので学生にも好評である。ネット環境がクリアできればツールとしてはよい。 広域で手を携えるところでは、社会福祉協議会は既に西日本と東日本で助けあいのシステムができています。阪神大震災以降、システムを作り東日本大震災で強化している。大きな災害が起きたときに助けに行くシステムを東京都でも構築していく必要がある。全域で行うことは難しいと思うので、主任相談支援専門員が日頃から大きな役割を担うことになるといった視点を持込めるよう検討していただきたい。 最終的なプログラムについては、主任研修検討チームに委ねる。 大きな変更点等が出てきたときは、検討会委員に確認していただくことでいかがか。 主任研修のプログラムについては、これで確定したいがいかがか。
各委員	(承認)
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 本日の検討事項は終了する。
3 閉会	
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 初任者研修、現任研修の進行状況と初任者、現任、主任とつながりを持つことが大切となる。具体的なつながりについて報告をいただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修と現任研修については、プログラムが確定している。第2回検討会后、演習資料に具体的に落とし込んでいく中で、新たに加えたことや重ねて議論した内容等、各チームの状況を報告していただきたい。
杉田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修の進行状況について報告する。プログラム確定後の変更はない。 ・内容をわかりやすくした観点から、5 P i c s をわかりやすく進めるにはどのようにすべきか検討した。演習ノートのつくりをわかりやすくすることに加え、今までは5 P i c s のミスポジション論を基にして、そのままサービス等利用計画におとしこんできたが、本来そのように考えるものではない。ニーズ整理表及び5 P i c s は、思考を整理（考えること）するためのものであり、全く切り分けて演習し、計画については、改めて考えるやり方に変更する。 ・演習ノートの原稿作成は終了した。現在は事務局が校正中。これから、本番用の進行スライドを作成する。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの演習指導者養成研修にあったように5 P i c s がわかりづらいので説明できるように、内容を調整していただくことになる。 ・質問等がなければ、次の現任研修の進行状況について説明をしていただきたい。
中島副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現任研修チームの打合せは8月6日（木曜日）に行った。初任者研修チームリーダーの杉田副委員長を迎え、初任者研修のオリエンテーションの資料を見ながら具体的な説明があり、実習内容や課題の報告もいただいた。それを受けて現任研修について検討した。 ・相談支援従事者研修全体のストーリー性を大切にし、都版の専門員像に寄せた内容にする。 ・初任者研修のオリエンテーションでは、車に人が乗り合わせているスライドを用いてフェルトニーズ、ノーマティブニーズ、リアルニーズの説明をしている。運転するのは本人であるという、本人中心の考えがとてもわかりやすく描かれている。現任研修でも、こちらのスライドを使って進めていきたい。 ・初任者研修と現任研修の実習課題のツールを合わせていくことを共有化した。初任者研修の実習課題や案内文を作成しているところだが、来年度は、実習課題と案内文並びにスライドをもう少し揃えられるようにしたい。 ・主任研修1日目からの流れを作成したロードマップを現任研修で使っている。一連のストーリーが見える図があるとよい。初任者研修はロードマップを使わずにらせん状の新たなツールを使っているの、一本化するのがよいという意見があった。 ・現任研修の資料ができあがってから主任研修を作成するため、8月中までに資料を作成することになっていた。主任研修を作成するために1度締切としたが、現任研修まで時間があるので定期的に打合せを継続し、ブラッシュアップしていく。次回は10月12日（月曜日）に資料を検討する。来年度のスケジュールを年度明けに確認し、F T の養成を含めて検討したい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援従事者研修全体の中核となる現任研修を橋渡し役として、初任者研修、主任研修のつなぎを考えている。東京都オリジナルの研修を作っていくことが大切である。 ・現任研修の進行状況についてはご確認いただいた。補足、質疑はないため、事務局へ返す。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・演習指導者養成研修の準備状況についてご報告する。 ・申込人数25名、受講者24名。昨年度と同様で3日程で行い、2日目は、プログラム変更に伴い半日から1日で実施する。 (区市町村からの推薦者20名、国研修受講者からの推薦者5名、辞退1名) ・続いて初任者研修の準備状況についてご報告する。 ・演習ノート等の資料については、現在、事務局で最終確認を行っており、来週には決定する。初任者研修チームの皆様には、大変ご尽力いただいた。改めてお礼を申し上げたい。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受けて、募集定員を400名とした。申込人員462名に対し、受講決定者414名 従事予定事業所所在地の区市町村に受講決定者名簿をそれぞれ9月8日(火曜日)に発送予定。9月18日(金曜日)、受講決定者に講義資料一式を発送する。 ・同じ時期に、区市町村に対しては演習ノート、実習ガイダンス資料を送付し、実習の内容をご理解いただく。 ・FTは78名の方にご協力いただく。 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた研修になるので、皆様には今まで以上のご負担をおかけすることとなる。引き続きご協力をいただきたい。
森下地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議論の中でも新型コロナウイルス感染症について上がっていたが、予測できない状況である。研修の実施状況については、その都度の状況を判断し、決定していきたい。また、決定したことであっても今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて変更を余儀なくされることもあると思っている。直前の変更もあり得ることを改めてご承知おきいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者等研修及び相談支援従事者の国研修について情報提供する。 サービス管理責任者等研修の国研修はオンライン配信により実施する。 ・講義動画を事前に視聴し、Zoomによる双方向のやりとりを一部行う。 ・講義については、受講者以外も視聴することができる。Zoomによる部分については、録画をして後日公開されることになっている。 このような実施方法のため、受講者限定となっており、サービス管理責任者等研修の講師としてサービス管理責任者等研修検討会から1名、専門コース別研修の受講者として、相談支援従事者研修検討会の藤田委員に受講していただくことになった。 専門コース別研修の内容は意思決定支援になっているが、サービス管理責任者等研修ではこのテーマの研修はまだ予定していないこと、また、相談支援従事者研修の国研修では、このテーマは実施されないことになっている。そのため、このテーマを扱う現任研修チームの藤田委員に受講をお願いした。 ・相談支援従事者研修の国研修も同じ形での実施になる予定とのこと。 ・令和2年度第4回東京都相談支援従事者研修検討会は、令和3年3月15日(月曜日)の予定